

令和6年2月6日

国立市議会議長 高柳 貴美代様

第三小学校の通学路である通称三小通りの拡幅 に関する陳情

陳情の趣旨 国立は文教地区であり、都市計画のスローガンは人にやさしくである。国立第三小学校の通学路、通称三小通りのうち約二百メートル区間は 5.4m であり都市計画の拡幅予定地となっている。今年で 70 周年を迎えるが試算すると約 3.5 万人の児童が一年から六年まで毎日危険な目にあい今もあっている。今回、日野校長のお話を伺ったが、歴代の校長及びPTA は通学路の危険性を毎年市に訴えたが無視され、ある人は陳情したが却下された。毎朝、PTA は当番制で児童を見守り、町内会の Y 氏は何十年も毎日道路にたち続けた。現在、中央高速に直結する国道 20 号や旧 20 号から JR 南武線を陸橋で越え東八道路と直結する工事が進行し完成時には多くの車がこの道路を利用する。さらにこの道は三小通りと直結するため、近道として三小通りの交通量は増加する。国立市の南北交通の要となる三小通りのこの部分が文字通りネックとなっていてこの拡幅は喫緊の課題だ。そもそも拡幅予定地は、土地売買の際、重要事項説明義務により建築の撤去を想定する説明がされ土地価格は安価であり現地拡幅予定部分は建物がなかったり貸家になっている例もある。さらに防災上、東京都は予想される災害の対処のため道路の拡幅を指導している。今回の能登半島地震では延焼防止のために道路幅は最低 8m 必要ということが実証された。

陳情事項 市会議員の皆さんに、現地の状況を把握し、校長、PTA 諸氏の声をお聞きして長年放置されてきたこの拡幅予定地の都市計画を即、実施することを望む。